

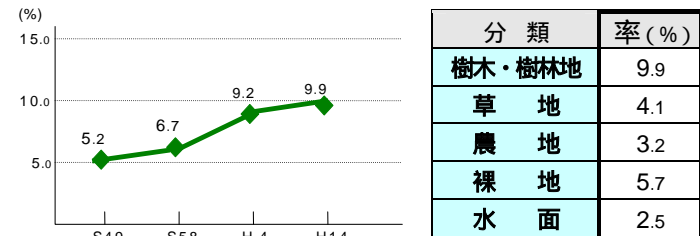
みどりの現況

周辺山系や農空間においては、担い手不足等により荒廃や減少が進み、みどりの機能の低下が危惧される

府域全体の緑地面積は、約4割を維持(H8~H17)
地域緑地は森林や農地の減少等により約500ha減少、
施設緑地は公園整備などにより約800ha増加

市街地では、都市化の進展により新たな緑化スペースの確保が困難

市街化区域における緑被率(樹林・樹木) 9.9%(H14)



大阪の都市にはみどりが「少ない」と感じる府民が約8割
(府域全体については約5割)

みどりを取り巻く課題と対応

(1) 広域的なみどりのネットワークが必要

海と山の近接性を活かした「みどりの風の軸」の創出

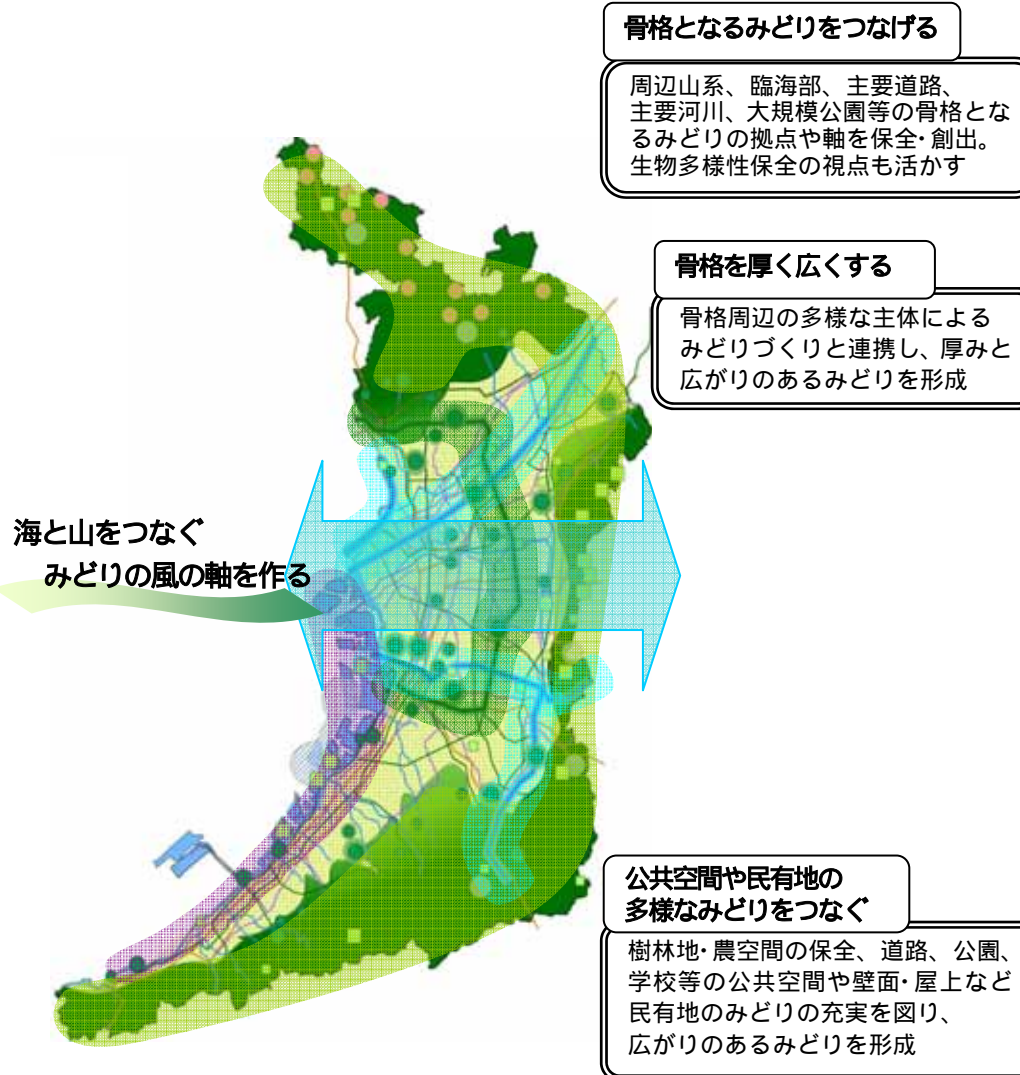
(2) 府民が実感できるみどりづくりが必要

みどりの機能を発揮させる「周辺山系等の保全・再生」
府民実感を高める「みどりの量的充足・質の向上」

(3) 連携・協働の機運を活かし、高める必要

民間の力を活かした「みどりのマネジメント」の仕組みづくり
市町村との連携による「みどりの連続性」の創出

みどりの配置方針と4つの基本戦略



骨格となるみどりをつなげる

周辺山系、臨海部、主要道路、主要河川、大規模公園等の骨格となるみどりの拠点や軸を保全・創出。生物多様性保全の視点も活かす

骨格を厚く広げる

骨格周辺の多様な主体によるみどりづくりと連携し、厚みと広がりのあるみどりを形成

公共空間や民有地の多様なみどりをつなぐ

樹林地・農空間の保全、道路、公園、学校等の公共空間や壁面・屋上など民有地のみどりの充実を図り、広がりのあるみどりを形成

海と山をつなぐ
みどりの風の軸を作る

基本戦略2

みどりの風を感じるネットワークの形成

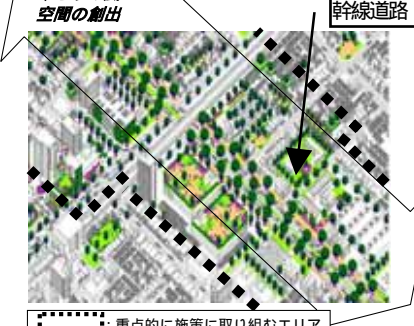
主要道路・主要河川・大規模公園緑地を軸や拠点として、山や海の豊かな自然を都市へと導く、みどりの連続性や厚み・広がり確保

道路・河川を主軸としたネットワーク

中環の森づくり
高木並木による緑陰づくり
「水の都大阪」の再生
自然環境を保全・活用した親水空間の創出

みどりの連続性や厚みと広がり確保

「(仮称)みどりの風促進区域」の検討
主要道路や主要河川、大規模公園などを軸や拠点とした区域を指定し、緑豊かなセミパブリック空間を創出



ネットワークの拠点となる大規模公園緑地

府営公園整備によるみどりの拡充
企業連携による「泉佐野丘陵緑地」整備
下水処理場上部緑化

基本戦略3

街の中に多様なみどりを創出

屋上・壁面など様々な空間にみどりを増やし、つなぎ、広げ、「都市の中でもみどりの風を感じる街づくり」を進める

府有施設の緑化推進等



府有施設等緑化推進計画の推進
市町村管理施設等との連携

民有地のみどりの保全・創出



建築物緑化促進制度の推進・強化
・接道部の緑化を重点化など制度改革の検討
屋上・壁面・駐車場等新たなみどりの創出

計画期間と目標・指標

計画期間 : 21世紀の第1四半期(2025年(H37))まで

緑地の確保目標: 府域面積に対する割合を約4割以上確保

緑化の目標(市街化区域): 緑被率20%(現況の1.5倍)

従来からの「樹林・樹木のみを対象とする緑被率」15%を目指しつつ、「樹木の植栽困難地でのみどりの確保」や「ヒートアイランド現象の緩和」等を早急に進める観点から、「樹林・樹木に芝生等を含む草地等を加えた緑被率」を新たな指標として設定

指標(3年毎検証):
大阪府域にみどりがあると感じる府民の割合を増やす 約5割 約8割
最近みどりに触れた府民の割合を増やす 約4割 約8割

計画の点検と見直し: 施策に応じた実行計画の策定
取組状況や実績数値の整理・公表(毎年)
緑被率調査の手法・サイクルの検討
目標・実績数値・指標の検証、必要に応じ計画の見直し

基本戦略1

みどり豊かな自然環境の保全・再生

周辺山系や農空間、大阪湾の豊かな自然環境の保全・再生により、「みどりの環境保全機能の発揮」「生物多様性の確保」「府民の憩いの場づくり」を実現

周辺山系の保全・再生



小規模開発協議制度の創設
新たな府立自然公園の指定
里山保全地域指定制度の創設
放置森林対策の推進
「生駒山系花屏風」構想の実現

農空間の保全・活用

農空間保全地域の指定
遊休農地の利用促進
ため池、水路のオアシス整備

臨海部の保全・再生

「共生の森」づくり
河口干潟の再生
人工干潟の整備
港湾部の緑地の拡大

基本戦略4

みどりの行動の促進

府民や企業、NPOとの協働による保全の体制や仕組みづくりにより、「みどりを通じた地域力の再生」を目指す

みどりづくりを通じた地域力再生



校庭の芝生化
みんなで育てる花いっぱいプロジェクト
緑化樹配付

府民、NPO、企業等との連携推進



C S R活動との連携
アドプトプログラム
新たな公(協議会等)によるみどりづくり
みどり基金など寄附制度の拡充

みどりの人づくり・組織づくり

子どもたちによる「身近な生き物調査」「冒険の森づくり」
ボランティアリーダーの育成